

SHIMANTO | 10

四万十町通信 2024.VOL.223

OCTOBER



特集

混ぜるとごみ。分ければ資源！





身近なごみ問題

混ぜるとごみ。分ければ資源!



ごみの実態 [R1▶R5]	
収集・運搬・処理費用 (年間)	約3.6億円 ▶ 約3.8億円
可燃ごみ排出量 (年間)	約5,200t ▶ 約4,800t
一人当たりの可燃ごみ排出量 (年間)	約314kg ▶ 約315kg
リサイクル率 (年間)	約14.9% ▶ 約15.1%

※高知県リサイクル率 約20.3% (R3)

毎日の生活の中で出てくるごみ。あなたが集積所へ出したそのごみ袋。本当にその中身を「全部ごみ」だと言えますか…。

ごみ問題は、今や誰もが知っている最も身近な社会問題です。四十万町では年間約3億8千万円の費用を投じて、約4,800tの可燃ごみを焼却処分しています。

その可燃ごみの中には、適切に分別すれば資源として再利用できるペットボトルや紙類などの資源ごみが混ざり込んでいます。

令和元年度と比較すると、人口が約1,400人減少している分、総体的なごみの排出量は減少していますが、1人当たりのごみの排出量やリサイクル率には大きな変化が見られません。これは私たちの「分別・減量」への意識や取り組みがここ数年、変わっていないことの表れなのかもしれません。

そこで今回の特集では、家庭から出されるごみが分別されていないことにより、どんな問題が生じているのか、現場取材から見えてきた事実をお伝えします。

便利な生活がごみを増やす!?

近年、私たちを取り巻く生活環境は、あらゆる技術の発達により、便利な生活

を送れるようになりました。この技術の発達に伴い、過剰包装や使い捨て商品が多く出回るなど、市場にも変化が生じています。

私たちは、この利便さによっていつの間にか、物を大切にしなくなったり、すぐに新しい物に買い替えたり、必要以上に大量に物を購入したりしていませんでしょうか。

その結果、各家庭では物があふれ、必然的にごみの量が増えてしまっています。

大切な資源までごみにしないで!

ごみを出さないことは不可能ですが、ごみを資源に変えて、減らすことは可能です。

ごみは混ぜてしまえば、ただの「ごみ」。焼却されて灰になってしまいますが、適切に分別ができれば、「資源」として再利用でき、結果、可燃ごみは減少します。

しかし、多くの方がごみの分別を「面倒くさい」と感じているのも事実です。だからと言って、分別しなくいいことにはなりません。

誰かの面倒くさいは、別の誰かによって、「時間」と「手間」をかけて分別されています…。

皆さんの近所にあるごみ集積所で、黄色や赤色のステッカーが貼られたごみ袋を見たことはありませんか。

これは、分別のルールに従って、適正にごみが出されていなかったために、収集業者が回収できなかったごみです。

そのごみは、最終的には地域の区長やクリーンセンター銀河の職員などによって、全て手作業で分別されることとなります。

ごみは、あなたの家庭から出して終わりではありません。出されたごみには、その先があることを、私たち一人一人が意識しなければいけません。



あなたは大丈夫!? / 収集と処理の両現場に聞いた「資源ごみ」の間違った出し方!

NG 01. ペットボトルの中をきれいに洗っていない!

ペットボトルは、圧縮機でプレスした後、専門業者が回収に来るまで約3~4か月間保管されます。洗っていないと、その間に虫が湧いたり、悪臭の原因に…。



NG 02. ペットボトルのキャップが付いたままに!

ペットボトル本体とキャップの素材は違います。そのため、品質の高いリサイクルを維持するためには分別が必須。現場では作業員が手作業で1個1個取り外す手間が生じています…。



NG 03. 紙類を紙の種類ごとに分別していない!

紙類は、紙の種類ごとにひもで十字に縛ります。

- ①新聞紙 ②ダンボール ③紙パック ④本・雑誌

リサイクル業者が異なるため、混ざっていると作業員が全て手作業で仕分けすることに…。



NG 04. 缶の中にガラスびん類が混ざっている!

作業員が選別する際に、ガラスびん類が混ざっていると大変危険です。



あなたの面倒くさいが、火災事故やごみ処理の停止につながることも!

「とにかく、ごみはルールを守って出してください」

可燃ごみ以外のごみは、全て作業員が1袋ずつ開けて、中身を選別しています。しかし、バックカーで運び込まれる可燃ごみについては、そうもいきません。「少しだから」「面倒だから」といって、可燃ごみの中に電池類や金物類を混ぜ込まれてしまうと、取り除くことはできずそのまま焼却炉で燃焼されることとなります。

特にお子様のおもちゃやリモコンに使用されているリチウムイオン電池などは、少しの衝撃で発火する可能性があるため大変危険です。ごみピット内で火災が発生すれば、消火することは不可能とされています。また、金物類は燃焼しても燃え残るこ

とから、灰をコンベヤで搬出する際にその燃え残りが機械に引っ掛かり破損の原因となります。機械が破損し灰が搬出できなくなると、ごみを受け入れることもできません。

だからこそ、ごみ出しのルールは必ず守ってもらいたいです。



分別されずに燃え残った一輪車のタイヤや一斗缶など



このごみの正体は「面倒くさいの固まり」!



クリーンセンター銀河 所長 青木 佑介さん



「面倒くさい」によって、2つの現場では…

「分別ができていないと言えない」

この20年間、分別の状況にあまり変化はありません。当たり前のようにきちんと分別していただいている方もいれば、そうでない方もいます。

悪質なケースとしては、テレビや冷蔵庫、洗濯機など、通常では持ち込むことができない特定家電を、細かく分解して金物類の袋に入れて出している方もいます。

ごみの出し方には、決められたルールがあります。分別は面倒で手間も掛かって大変ですが、これを機会に各家庭でももう一度確認してもらえといういですね。



▲精密ドライバーや電動ドライバーを使って、リモコンやおもちゃに入っている電池を取り出す今井さん。

処理現場



クリーンセンター銀河
やすし
今井 泰さん



収集現場



(NPO 法人)
四万十町環境・雇用創出協会
まさゆき
窪田 雅之さん

「ごみ出しルールを守って出してほしい」

集積所によって、きちんと分別ができていない所とそうでない所があります。金物類は、袋を持った時にズシッと重みを感じる時がありますが、そういった時は、空き缶の中に分解されたテレビや洗濯機などの家電が混ざっていたりします。

生ごみについては、回収日の朝に出してもらいたいです。夏場に魚のアラなどを数日前から出されると、うじ虫が湧いて大変な状況になります。

ルールを守ったごみ出しができるようになれば、私たちも現場で迷ったり、考えたりすることなくスムーズに収集できます。分別にご協力をお願いします。



▲集積所のびん類を手際よく回収していく窪田さん。その顔には大粒の汗が。

私たちは、もう資源を捨てない！

再利用できるものは、正しく分別してごみにしない。皆さんが出すごみ。自信を持って「全部ごみ」だと言える日がくれば、人にも環境にも優しい町に一步近づいているのかもしれない。

ご利用ください！

四万十町生ごみ処理容器等 購入設置事業補助金

家庭から出る生ごみの減量化と堆肥としての再資源化を推進するため、「生ごみ処理容器」や「生ごみ処理機」の購入費用の一部を補助します。

生ごみ処理容器
購入費の2分の1 (上限 2,500円)
生ごみ処理機
購入費の2分の1 (上限 2万5千円)



▲四万十町 HP 「ごみの正しい出し方」



Reduce

リデュース (ごみを減らす)

買う時は必要な分だけ！

- ✓ 割りばしやレジ袋をもらわない
- ✓ 食品を使い切り、食べ残しをしない



Reuse

リユース (繰り返し使う)

物は長く大切に使う！

- ✓ 詰め替え用品を選ぶ
- ✓ 使わないものは誰かに譲る
- ✓ 直せるものは修理して使う

Recycle

リサイクル (資源として再利用)

ルールに沿って正しく分別！

- ✓ 再生プラスチック商品を選ぶ
- ✓ ペットボトルは洗って資源ごみ



ごみを減らしたり、リサイクルするためには、皆さんの毎日の取り組みが大切になってきます。一つ一つの取り組みは小さなことかもしれませんが、今からできることを皆さんで始めてみることで、大きな第一歩へとつながります。

ごみを資源として再利用している取り組みを紹介！

ごみで焼却するくらいなら 畑に入りたい！

田中 浩二さん (広瀬)

6年前に地域おこし協力隊として福岡県から四万十町に移住してきた田中さん。一人暮らしを始めて、毎日出る生ごみの量に驚いたそうです。ちょうど農業を始めたばかりだったこともあり、生ごみで堆肥が作れることに興味を持ち、2年前に町の補助金を活用して生ごみ処理容器コンポスターを購入。

それ以降、日常生活で出る生ごみは全てコンポスターの中へ。堆肥になったものは畑の肥料として活用しているのですが、発酵と腐敗は全く別物であることを実感。今でも堆肥作りには悪戦苦闘。それでも、「可燃ごみになっていた生ごみの量を減らすことはできました」と、笑って話をしてくれました。



- 1_ 畑に設置された生ごみ処理容器コンポスター
- 2_ 堆肥を混ぜた畑にはカリフラワーの苗が植えられていた

リヤカーで 地域のアルミ缶を回収！

仁井田小学校 (3~6年生)

仁井田小学校で毎月1回実施されているアルミ缶回収は、今年で24年目を迎える伝統の取り組みです。3~4人の班を4班作り、1班が2台ずつリヤカーを引き、合計8台のリヤカーで学校周辺の地域を回ってアルミ缶を回収しています。

昨年度は、1,070kgのアルミ缶を回収。その収益の一部で、毎年、福祉施設へ介護用具などが寄贈されています。「夏は暑いし、冬はリヤカーを引く手が冷たい。でもアルミ缶もリサイクルできるし、福祉施設の方にも喜んでもらえるのでうれしい」と、児童が話をしてくれました。



- 1_ 高学年から中学年へ伝統は継承される
- 2_ 量が多い時は落ちそうで大変！



連合男子ソフトボール部 全国準優勝！

富山県で8月18日から開催された「第46回全国中学校ソフトボール大会」に男子ソフトボール部（窪川・大正中連合チーム）が出場し、3日間の熱戦を戦い抜き、見事準優勝という成果を挙げました。

決勝戦の相手は、四国大会の決勝で敗れた愛媛県のクラブチーム。先制し序盤はリードするなど、緊張感のある好ゲームでしたが、惜敗。チームで目標としていた全国制覇にはあと一步届きませんでした。一人一人が試合ごとに成長していく中で、チームワークが高まっていったことが、全国準優勝という素晴らしい結果へとつながりました。

- 1回戦** 窪川・大正 9-0 守山市立守山南中学校（滋賀）
- 2回戦** 窪川・大正 14-2 長崎KSC（長崎）
- 準決勝** 窪川・大正 7-2 鹿児島SC（鹿児島）
- 決勝** 窪川・大正 1-6 愛媛ジュニアソフトボールクラブ（愛媛）

男子ソフトボール部

窪川中学校		大正中学校		
芝野 銀神	氏原 海春	田邊 陽大	中嶋飛那汰	西井 遥磨
西森 仁海	門松 俊太	中平 優心	横山 聡一	吉村 至雲
木村 風翔	宮脇 豊空	林 聡助	武内 輝磨	横山 優心



チーム一丸となって快進撃をみせた連合男子ソフトボール部



清岡幸大郎選手 表敬訪問

「パリ2024オリンピック」のレスリング男子フリースタイル65kg級で、高知県勢として92年ぶりに金メダルを獲得した清岡幸大郎選手（高知市出身）が、8月23日に町役場を訪れ、勝利を報告しました。今回の表敬訪問は、清岡選手の母が四万十町出身であり、祖父母も町内在住であることから実現したもので、町職員や地域住民が、横断幕や大きな拍手で出迎えました。

清岡選手からは、「幼少期に四万十町の大自然に触れ、楽しむのびのびと過ごした思い出や仁井田米などの豊かな食材が、今の自分を形作っている」との挨拶がありました。

金メダルを持った清岡幸大郎選手と母 清岡えりかさん



中高生ビッグバンドのジャズの祭典で優秀賞！

FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA（大正中学校音楽部・四万十高校音楽部）が、8月23～25日の3日間、神戸市で開催された「第39回ジャパンスチューデントジャズフェスティバル2024」に出場しました。この大会に向けて、多くの時間を割いて中学生と高校生が力を合わせて取り組んできた結果、高校の部では「優秀賞」を受賞し、個人でも高校2年の森田怜夢さん（大正中学校出身）が「ナイスプレーヤー賞」を受賞しました。いつも温かく応援してくれる地域の皆さまに感謝しながら、少しでも地域に元気を与えられる演奏ができるよう今後も仲間と共に取り組んでいきます。

優秀賞を受賞したFAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRAの皆さん



夏休みの工作教室開催

少年補導センターの育成事業の一環として、アリス工芸の矢島博さんを講師に迎えて、夏休み工作教室を開催しました。8月4日の午前中は地域交流センターたのので、また午後からは農村環境改善センターで開催され、35名の児童の参加がありました。

「ドリームカーを作ろう」という今年のテーマには、木を使って作品を作ること、木や山などの自然を大切に作る姿勢を育てていこうという思いが込められており、保護者も加わり、参加者たちはそれぞれが工夫し個性あふれる作品を作っていました。

集中して作業をすすめる参加者たち



「四万十町窪川B&G海洋センター杯小学生バレーボール大会」開催

「第29回四万十町窪川B&G海洋センター杯小学生バレーボール大会」が8月4日に開催されました。県内外から32チーム・264名が参加し、高学年と低学年の部に分かれて町内4会場で熱戦を繰り広げました。町内からは窪川ジュニアバレーボールクラブが各部に出場し、低学年の部で3位入賞となりました。同チームの今後の更なる飛躍、また活躍を期待しています。

写真左上から 窪田羽南 4年 縫悠妃 4年 沖田古都 4年 谷平咲花 3年 矢間美花 3年
写真左下から 森野葵衣 4年 (主将) 市川陽和 4年 前田結菜 4年 前田悠斗 1年

低学年の部で3位に入賞した窪川ジュニアバレーボールクラブ



敬老の日のご長寿訪問

中尾町長・森副町長が9月16日の敬老の日に併せ、町長訪問を希望された9名の方々のご自宅を訪問し、賞状と記念品を渡し長寿をお祝いしました。

読み上げられた賞状をにこやかに受け取られ、長寿の秘訣について談笑される場面も。

なお、本町で今年度100歳を迎えられる方も含めた100歳以上の方は56名となっており、最高齢は十和川口にお住まいの岡本京さん（104歳）となっています。今年もつつがなく敬老の日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

親戚一同でにぎやかに100歳を祝われた岡田光男さん（十川）



「四万十町長期ミックスバレーボール大会」開催

「第33回四万十町長期ミックスバレーボール大会」が7月16日から5日間の日程で開催されました。

6人制の男女混合チームで行われる同大会には6チームが参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、白熱したラリーを繰り広げました。

選手の皆さんには、今後も引き続き、仕事や育児などの調和を図りながらスポーツに親しんでいただきたいと思います。

優勝したチーム「ドラゴン」の皆さん

優勝 ドラゴン 第2位 いごっそうその2 第3位 異骨相

四万十町人事行政の運営等の状況を公表

「四万十町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」の規定に基づき、四万十町における令和5年度人事行政の運営等の状況を公表します。

■ 職員の任免および職員数に関する状況

(1) 職員数の状況

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		5年	6年		
一般行政部門	議会	3	3	0	
	総務	34	37	3	・職員採用による増(1) ・職員派遣による増(2)
	企画	17	14	▲3	・文化的施設整備推進室の廃止(▲3)
	住民	17	16	▲1	・事務配分の見直し(▲1)
	税務	14	13	▲1	・事務配分の見直し(▲1)
	民生	58 (12)	60 (11)	2 (▲1)	・職員の退職不補充(▲1) ・事務配分の見直し(3)
	衛生	22	20	▲2	・新型コロナウイルスワクチン接種推進係の廃止(▲1) ・事務配分の見直し(▲1)
	農林水産	23	23	0	
	商工	18	17	▲1	・事務配分の見直し(▲1)
	土木	16	17	1	・組織の体制整備に伴う増(1)
	小計	222 (12)	220 (11)	▲2 (▲1)	
部門行政特別	教育	28 (3)	26 (2)	▲2 (▲1)	・職員の退職不補充(▲1) ・事務配分の見直し(▲1)
公営企業等	病院	29 (4)	28 (3)	▲1 (▲1)	・職員の退職不補充(▲2) ・理学療法士の採用による増(1)
	水道	5	4	▲1	・公営企業会計へ移行に伴う減(▲1)
	下水道	0	1	1	・公営企業会計へ移行に伴う増(1)
	その他	70 (9)	67 (10)	▲3 (1)	・職員の退職不補充(▲3)
	小計	104 (13)	100 (13)	▲4 (0)	
合計	354 (28)	346 (26)	▲8 (▲2)		

(注) 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時的に任用された職員および非常勤職員(法第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員および法第22条の2第1項第2号に掲げる職員を除く)を除き、下線については法第22条の2第1項第2号(フルタイムの会計年度任用職員)に掲げる職員数です(以下同じ)。

(2) 任用・退職の状況

任用	事務職	図書館司書	保育士	保育所調理師	医師	看護師	理学療法士	計
	6	1	1	1	1	1	1	12
退職	普通退職		定年退職		その他 (再任用任期満了による者)		計	
	19		0		2		21	

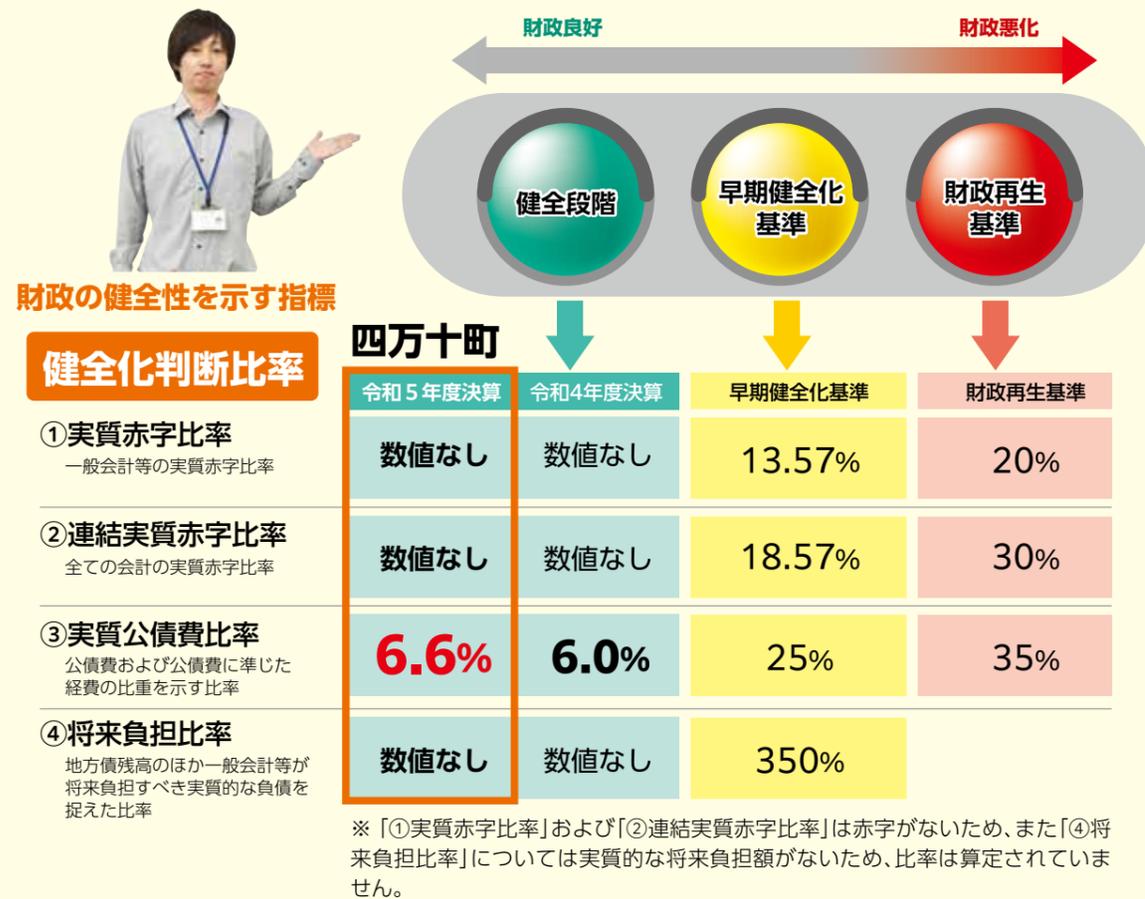
財政健全化法に基づく健全化判断比率等を公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、令和5年度決算に基づく「健全化判断比率」ならびに公営企業会計ごとの「資金不足比率」を公表します。この法律は、地方公共団体の財政状況を指標として算定・公表し、健全化の状況をより明らかにするためのものです。

本町における「健全化判断比率(4指標)」と「資金不足比率」は、いずれも下表のとおり健全化法の基準である「早期健全化(経営健全化)基準」を下回っており、現時点では適正な水準にあります。

今後も四万十町総合振興計画に位置づけられた将来像に向け、健全な財政を維持していきます。

※ 下表の早期健全化(経営健全化)基準および財政再生基準は、いずれも令和5年度決算に対する基準を表示しています。
※ 各指標の算定資料の書類などは、総務課(財政班)に備えています。



基準の説明

早期健全化基準
健全化判断比率(①から④の比率)のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合は、議会の議決を経て財政健全化計画を定め、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

財政再生基準
健全化判断比率(①から④の比率)のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合は、いわゆる赤字再建団体となり、議会の議決を経て財政再生計画を定め、国などの関与による確実な再生が求められます。

経営健全化基準
資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合は、議会の議決を経て経営健全化計画を定め、自主的な改善努力による経営健全化が求められます。

日本経営協会	—	総合計画策定の進め方と見直しのポイント、会計年度任用職員の任用と管理実務、公文書の書き方、自治体窓口現場 DX の具体的な進め方、自治体広報の作り方と情報発信、介護保険施設などにおける指導監督のポイント、出納事務の合理的運用と予算・決算、指導監督のための社会福祉法人の計算書類などの監査のしかた、指定居宅介護支援事業所における指導監督のポイント、マイナンバー取扱担当者の基礎知識と実務、社会福祉施設におけるハラスメント・虐待防止の対応策と留意点、農地法および関係制度の基礎と実務、Chat GPT のビジネス活用	17
町独自の主な研修	—	人事評価制度研修（業績・能力評価）	6
		人事評価制度研修（被評価者）	14
		新採職員研修	9
		職場におけるメンタルヘルス（人づくり講師派遣）	46
		マイナンバー安全管理措置職員研修会	97
		チャレンジし続ける町～よこぜまちの取り組みから学ぶ～	13
		刈払機取扱作業安全衛生教育	25
		伐木などの業務に係る特別教育	22
		小型重機スキルアップ研修	33
		「明日から使える伝わるデザイン」勉強会	21

(2) 人事評価の状況

平成 28 年度から、職員の能力と業績に基づく人事評価制度を本格実施し、その評価結果を勤勉手当と昇給に反映しています。また、人事異動、人材育成などに活用しています。

勤勉手当と昇給への反映状況（令和 5 年度の評価結果の反映）

	勤勉手当			昇給		
	上位	標準	下位	上位	標準	下位
分布率	0.89%	98.81%	0.30%	0.00%	99.40%	0.60%

■ 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 職員の福利厚生事業の状況

事項	対象者等	実施金額
四万十町 法定健康診断	希望職員	199,980 円 (776,380 円)
高知縣市町村互助会 給付事業・短期人間ドックの利用助成・保養施設利用助成・厚生事業・貸付事業・退職福祉部事業・団体定期保険事業	該当職員 希望職員	24,409,260 円 (内会員掛金額) 14,426,700 円

【特記事項】 高知縣市町村互助会会員数 631 人（令和 5 年 4 月 1 日現在）

(2) 公務災害補償の申請状況

区分	件数	公務災害の概要
公務災害	2 件	スズメバチ刺傷など

■ 高知県人事委員会からの状況報告

職員の勤務条件に関する措置の要求	要求件数 0 件
職員に対する不利益処分に関する不服申立	申立件数 0 件

■ 職員の勤務時間その他の勤務条件に関する状況

正規の勤務時間	休憩時間
7 時間 45 分（週 38 時間 45 分） 8:30 ～ 17:15	12:00 ～ 13:00

■ 職員の休業に関する状況

区分	付与日数	取得状況	備考
有給休暇	年間 20 日 (12.4 日)	平均 13.3 日 (11.1 日)	R5.1.1~R5.12.31 (R5.4.1~R6.3.31)
夏季休暇	3 日 (3 日)	平均 2.8 日 (2.4 日)	
育児休業	子が 3 歳に達するまでの期間	取得者数 15 人	無給

■ 職員の分限および懲戒処分の状況

(1) 分限処分の状況

区分	降任	免職	休職	降給	計
心身の故障	0	0	3	0	3

分限処分：職員がその職責を十分に果たすことができない場合に行われる、職員の意に反する不利益な身分上の変動をもたらす処分。

(2) 懲戒処分の状況

区分	戒告	減給	停職	免職	計
地方公務員法などに違反	1	0	1	0	2

懲戒処分：職務上の義務違反など、公務員としてふさわしくない非行があった場合に行われる処分。

■ 職員のサービスの状況

(1) 営利企業などの従事許可申請の状況

許可件数	34 件（住宅土地統計調査、国民生活基礎調査の調査員などが含まれます）
------	-------------------------------------

※規則により任命権者が認める場合に限り、例外的に営利企業などに従事する許可を得ることができます。

(2) 職務専念義務免除の状況

区分	承認件数
研修を受ける場合	5 件 (1 件)
その他特別の事由がある場合	4 件 (7 件)

※法律または条例の定め該当する場合、限定的にその職務専念義務免除が認められています。

■ 職員の研修および人事評価の状況

(1) 職員の研修の状況（職種別研修を除く）

研修機関	研修区分	研修内容	受講者
こうち人づくり 広域連合	階層別研修	新規採用、5 年目、10 年目、係長、課長補佐、課長、基本研修（一般）、基本研修（管理職）	60
	能力向上・開発研修	人事・研修担当者会、e-ラーニング、自治体法務入門、地方自治法、行財政問題研究、契約事務基礎、起案文書作成基礎、接遇、社会人基礎力、コーチング、アサーティブコミュニケーション、リスクマネジメント、議会事務局職員、トップセミナー	23
	講師派遣	接遇研修（高知市）	2
	人材交流セミナー	行政に求められるデザイン力・想像力	1
(一社) 高知県 発明協会	—	著作権の応用講座、知的財産セミナー	5
れんけいこうち	—	窓口利用体験調査報告会「書かないワンストップ窓口」の取扱について、人口減少と地域経済への影響	8
国際文化アカデミー	—	自治体における DX の推進	1

四万十町議会 定例会 町長行政報告

令和6年 9月

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意) 発表への対応

本年8月8日16時43分頃、日向灘を震源とするマグニチュード7.1、最大震度6弱の地震が発生し、高知県にも津波注意報が発表され、本町でも海岸付近にいる方への避難指示を発令し、警戒を行いました。特に目立った海面変動もなく安心をしたところです。

しかしながら、今回の地震を受け、気象庁より南海トラフ地震の想定震源域では、新たな大規模地震発生の可能性が平常時と比べ相対的に高まっているとし、同日19時15分に臨時情報の制度運用以降初めてとなる「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されました。

本町でも気象庁の発表を受け、同日より準備配備の体制を取り、終日警戒に当たってきました。また、住民の皆さまには、日ごろの地震への備えの再確認を行っていただくよう周知を行うとともに、町内5か所に自主避難を希望する方のための避難所を開設するなど対応を行ってきました。

その後、南海トラフ巨大地震につながる大きな地震活動もなく、政府より8月15日の17時をもって、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」発表に伴う「特別な注意の呼びかけ」を終了する旨の発表がされ、町では避難所を閉鎖し、準備配備を解散したところです。

しかしながら、8月8日の日向灘地震以降も神奈川県西部、茨城県北部と震度5を記録する地震が全国で多発しており、町では引き続き巨大地震への警戒に努めていきます。

住民の皆さまには、家具の固定や住宅の耐震化など日頃からの地震への備えの再確認を行っていただき、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常生活を行っていただきたいと考えています。

台風シーズンに入ることからも気象情報には注視し、万全の体制と早めの対応を行っていきたくと考えています。

JR予土線の維持・存続

愛媛県宇和島市から四万十町までを結ぶJR予土線は、昭和49年に全線開通し、今年で50周年を迎えました。本線は四国内の循環鉄道を形成する重要な路線であるとともに、町内においても生活路線として、特に朝夕の通学に多く利用されています。

しかし、人口減少や過疎高齢化などの影響から予土線をとりにまく状況は年々厳しくなっており、100円の収入を得るためのコストを表す「営業係数」においても、四国内で最も採算が悪い赤字路線とされています。

全国的に赤字ローカル鉄道の存廃議論が深まる中、国は「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本指針」を定め、ローカル鉄道において地域関係者や鉄道利用者にとって最適な形の交通手段を維持・確保するための議論を促進するよう、新

台風10号に対する防災対応と被害状況

台風10号は、当初、近畿・東海地方に向かうと予想されていましたが、その後進路予想がだんだんと西側になり、8月29日に過去の台風と比較しても最大級の勢力で九州に上陸しました。

さらに、今回の台風は迷走しながらゆっくりとした速度で進んだため、台風本体や台風周辺の発達した雨雲の影響で、28日以降9月2日までの長期にかけ広い範囲で大雨となる予報が気象庁から出されました。

こういった要因から、町では28日時点で早めに災害対策本部を立ち上げ、高齢者等避難の発令を決定し、町内10か所に避難所を開設し周知を行うとともに警戒に当たってきたところです。

29日には、四万十川の河川水位の急激な上昇も考えられることから、国土交通省中村河川事務所に支援要請を行い、四万十川と吉見川の合流地点に排水ポンプ車を配備していただき、町の排水ポンプ車と合わせての排水活動への準備を行いました。

しかし、その後の大井野観測所

の河川水位の上昇も収まり、排水ポンプ車の使用に至らず、最悪の事態を回避することができました。

30日には、発表されていた警報がすべて解除され、今後の被害の可能性が弱まったため、最大時には20名の方が避難されていた避難所を閉鎖し、同日に災害対策本部を解散し、今回の台風への対応を終了したところです。

町内の被害状況については、倒木や一部の地域では停電が発生していましたが、すでに復旧をしているところです。

また、十和地域では、河内地区で町道のり面部分の土砂崩れや浦越沈下橋の床板が落下するなどの被害が発生しています。これらの被害への対応は現在調査も含め担当課において進めているところです。

この他、9月4日現在で、公共土木施設災害について河川4件、道路5件、また、農地農業用施設災害について10件が確認されており、災害査定に向けて準備に取り掛かっています。

今回の台風では甚大な被害はありませんでしたが、これから

小学校の統合(適正配置計画の推進)

令和7年4月の統合に向けて準備を進めています。昭和と十川小学校については、両校の事前交流や調整・協議などを行っているところです。

また、地域から要望がありました小学校・中学校の校名変更についても、合わせて行うこととしており、地域や保護者の代表の方との協議により、新たな校名をそれぞれ「十和小学校」「十和中学校」にすることを確認し、6月に地域への広報・周知を行いました。

校名変更の条例改正については、12月議会に上程予定としており、現在は、「校歌」「校章」の作成に取り組んでいます。

今後は、「校歌」「校章」の決定、統合後の環境変化への対応や教育環境の充実に向け、さらに協議を進めることとしています。

次に、川口小学校については、保育所および小学校の保護者によって実施されたアンケートにおいて、統合に前向きな意見が多かったことから、令和8年4月に窪川小学校へ統合することが確認され、同意が得られました。

これを受け、地域への周知や説明会を実施し、統合・閉校への協力をお願いし、現在は、両校において交流活動を行っています。今後は、交流活動の他、スムーズな統合に向けた調整をはじめ、安全な通学方法や放課後の居場所など、必要な協議を進めていく予定としています。

保護者をはじめ、地域の皆さまには、ご理解とご協力をお願いいたします。

今後も、適正配置計画に基づく小学校の統合については、子どもたちのより良い教育環境の充実を目指すとともに、地域とともにある小学校の特質を踏まえながら、保護者の同意・地域の理解を得られるよう丁寧に進めていきます。

町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



全線開通50周年を迎えたJR予土線



統合に向けて調整が進められる川口小学校

○休日在宅当番医

月日	医院名	電話番号
10月 13(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
14(月)		
20(日)		
27(日)		
11月 3(日)		
4(月)		
11月 10(日)		



○休日水道修理当番

月日	業者名	電話番号
10月 12(土)	横山水道設備	☎22-3608
13(日)	岩本商店	☎22-2716
14(月)	日化住宅機器	☎22-0407
19(土)	宮脇水道	☎22-1581
20(日)	高橋設備	☎22-0662
26(土)	桑原水道	☎22-1163
27(日)	横山水道設備	☎22-3608
11月 2(土)	岩本商店	☎22-2716
3(日)	日化住宅機器	☎22-0407
4(月)	宮脇水道	☎22-1581
9(土)	高橋設備	☎22-0662
10(日)	桑原水道	☎22-1163

⚠ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。
大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。
大正 地域振興課 ☎27-0111
十和 地域振興課 ☎28-5111

○無料相談 (秘密厳守です。)

1日行政相談 【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

11月 12(火) 10:00~15:00 窪川 農村環境改善センター 2階 第1会議室 総務課 ☎22-3111

教育行政事務の点検・評価

お知らせ

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、四万十町教育委員会では、令和5年度の教育行政事務の管理と執行の状況について点検・評価を行い、報告書にまとめました。

報告書は、町のホームページおよび本庁・各地域振興局の閲覧コーナーにて閲覧が可能となっておりますのでご覧ください。



お問い合わせ先 学校教育課 ☎22-2594

令和6年度
入札結果(令和6年8月実施分)について

入札結果は、右のQRコードから、町ホームページにて確認することができます。



脱炭素社会の実現のため、一人一人のライフスタイルの転換が重要です。使い捨てプラスチックの使用を減らしたり、PETボトルマークの分別収集で海洋汚染も防ぎましょう!

【お問い合わせ先】 環境水道課 ☎22-3119

4,400円
が無料!



後期高齢者の歯科健診を受けましょう

歯・歯肉の状態や口腔内の衛生状態をチェックし、口腔機能の維持・向上、全身疾患の予防などにつなげるため、歯科健診を実施します。

お口の健康状態を知る良い機会となりますので、後期高齢者の特性に合わせた歯科健診を受診しましょう。なお、健診結果は、当日説明します。また、今後の保健指導などに活用しますのでご了承ください。

●対象者 高知県後期高齢者医療保険に加入している方

※ただし、6か月以上継続して入院されている方や介護施設などに入所中の方は対象外です。

●自己負担 無料(年1回のみ)

※治療が必要と診断された場合の治療費は、自己負担となります。



●受診期間 令和7年2月28日(金)まで

●受診方法 ◇次の条件の方には、事前に受診券を送付していますので、健診の予約をしてください。

- 昭和22年4月1日～昭和24年3月31日生まれの方
- 過去5年間(令和元年度～令和5年度)に後期高齢者歯科健康診査を受診した方

◇お手元に受診券が「届いていない方」は、町民課、後期高齢者医療担当まで、電話でお申し込みください。

●健診が受けられる歯科医療機関

町内の歯科医院は全て健診可能です。

町外の歯科医院については、受診券に同封している実施機関一覧表でご確認ください。事前に実施機関かどうか知りたい場合は、下記までお問い合わせください。



【お問い合わせ先】 町民課 ☎22-3117

～歩いて健康に～

実は、高知県の1日の歩数の平均は全国最下位！「日本一歩かない県」なのです。

参考)高知県男性:5647歩、女性5840歩 参考)全国男性7779歩、女性6776歩
※平成28年国民健康・栄養調査より

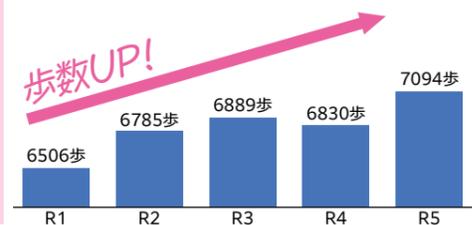
四万十町では みんなどのくらい歩いているの？

町では、令和元年4月から5年間、活動量計を用いた「歩く健康法」を取り入れてきました。

その結果、開始当初の令和元年は、1日歩数が約6500歩でしたが、令和5年には約7090歩に伸びています！

どれくらい歩けば健康なの？

推奨される身体活動は、成人で1日60分以上、1日約8000歩以上とされています。(健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023より)



1日8000歩を目安に歩くことはもちろん、日常生活でも座ってばかりでなく、気が付いた時には立ち上がるなど身体活動を取り入れてみましょう。※成人の目標歩数を基準として記載しています。

どんな病気が隠れているの？

四万十町で、医療費が多くかかっている疾病は、以下のとおりとなっています。

順位	入院+外来		
	主傷病名	件数	割合
1位	関節疾患	1,769	6.7%
2位	慢性腎不全(透析あり)	154	4.9%
3位	糖尿病	2,593	4.6%
4位	高血圧症	5,989	4.4%
5位	統合失調症	532	3.5%
6位	うつ病	840	3.1%
7位	不整脈	644	2.5%
8位	乳がん	189	2.4%
9位	肺がん	115	2.4%
10位	骨折	187	2.2%

※四万十町第3期データヘルス計画より



【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

マイナンバーカードを健康保険証として利用しましょう

令和6年12月2日以降、新規に現行(紙)の健康保険証は発行されません。

そのため、マイナンバーカードを健康保険証として利用することが推進されています。

マイナ保険証の利点として、これまでの診療記録や服薬情報などがどの医療機関でも閲覧可能となります。薬局でも、お薬の飲み合わせのチェックが容易にでき、より安全な薬物治療を受けられるようになります。一方、情報反映に1か月ほどかかること、災害時などは紙の情報が確認しやすい場合もあるため、お薬手帳と併用して利用していくことが大切です。現在お持ちの健康保険証との紐づけは薬局でも簡単に行えますので、ぜひ早めに準備していきましょう。

10月の無料健康相談日

20日(日)です。

どうぞ、気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】
調剤薬局技術センター
☎22-1000(高橋 瑛順)

子育て通信

内容	日時	場所	お問い合わせ
4か月児・7か月児健診	10月16日(水)	対象者に個別通知	窪川地域子育て支援センター
1歳6か月児健診	10月23日(水)	対象者に個別通知	四万十町役場本庁東庁舎
赤ちゃん相談	10月24日(木)	9:30~11:30	十和地域子育て支援センター
	11月6日(水)	13:30~16:00	窪川地域子育て支援センター
ハローベビースクール	11月10日(日)	10:00~12:00	窪川地域子育て支援センター

健康検査・がん検診

内容	日時	場所	お問い合わせ
子宮頸がん検診	10月16日(水)	9:00~11:00 13:00~15:00	大正健康管理センター
	11月5日(火)	9:00~11:00 13:00~15:00	十和体育館
	11月6日(水)	10:00~11:00	昭和地区基幹集落センター
乳がん検診	10月16日(水)	9:00~11:30 13:00~15:30	大正健康管理センター
	11月5日(火)	9:00~11:30 13:00~15:30	十和体育館
	11月6日(水)	9:00~11:00	昭和地区基幹集落センター
子宮頸がん検診・乳がん検診	11月6日(水)	13:30~15:00	大正北ノ川多目的集会所

医



からだに
いいはなし

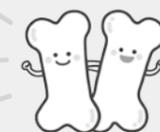
骨は大切ですよその1



1/3

ヒトの体をつくる上で、骨はとても大切です。

いくつになっても骨の代謝は起こっており、「動く・食べる・寝る」この3つを繰り返して、今の体がつくられています。だからこそ、丈夫な骨や元気な体をつくるには、食事、日光にあたること、運動、そして良質な睡眠を行うという考えが大事です。



若い頃に貯めた「骨貯金」を使わないようにどうするのか？

私たちの体は、食べ物から摂取したカルシウム(経口カルシウム)が足りない時は、体に蓄えられているカルシウム(経骨カルシウム)を借りてきて補おうとします。そのカルシウムを借りてくる場所は、主に腰椎、頸椎、大腿骨といった大きな骨からとなります。これは骨粗しょう症になって骨が曲がったり骨折をしやすかったりする箇所と重なっています。糖分の摂りすぎや日常のストレスなども、体内で多くのカルシウムを消費する一因になります。“いかに経骨カルシウムに頼らない食生活をするか”が、質のよい骨を保つカギになります。

“質のよい骨”とは、「しなやかさ」と「強度」と「密度」がバランスよく保たれている骨のことです。しなやかで骨密度の高い、強い骨をつくるには、コラーゲンとカルシウムが必要です。また体に吸収されにくいカルシウムは、ビタミンDとビタミンK2を含む食品も一緒に摂るのがおすすめです。日頃からプレーンヨーグルト、手羽元、牛すじ、皮付きの魚、チーズ類、納豆などを野菜と一緒に食べるとよいと言われています。運動や食べ物の力を上手に借りて睡眠を十分にとることが、しっかりとした骨や筋肉をつくっていくこととなります。

骨の強さをみることができる検査には骨塩定量検査があります。

当院の骨塩定量検査は5分程度で、寝ているだけで痛みもありません。また骨折を起こしやすい腰や足の付け根の骨に、少ないX線を利用し簡単に検査ができます。骨の強さ(密度)を測るのにDEXA(デキサ)法を用いて検査を行っています。

現在、さまざまな骨密度を測定する方法がありますが、DEXA法は最も信頼の高い測定方法であり、骨粗しょう症診断基準でもDEXA法を用いて計算することが推奨されています。

気になる方はかかりつけの医師にご相談ください。

四万十町国保大正診療所 徳橋理紗・岩本啓寛・大川剛史

高齢者の予防接種

お知らせ

新型コロナワクチン予防接種

新型コロナワクチンの全額公費による接種は、令和6年3月31日で終了しました。

新型コロナワクチンの接種は定期接種に位置づけられ、満65歳以上の高齢者などの方が接種の対象となります。

- 実施期間 令和7年1月31日(金)まで
※委託医療機関の休診日を除く
- 接種費用 自己負担金 3,300円

インフルエンザ予防接種

流行時期に備えて、早めに医療機関を予約し、接種を受けましょう。

- 実施期間 12月31日(火)まで
※委託医療機関の休診日を除く
- 接種費用 自己負担金 1,100円

お問い合わせ先

健康福祉課 ☎22-3115

共通項目

- 対象者 町内に住所があり、接種日において、次の①または②に該当する方
①満65歳以上の方
②満60歳以上65歳未満の方で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能に重い障害がある方(身体障がい者手帳1級または同程度と診断された方)
- 接種回数 実施期間中に1回のみ
- 接種場所・申込先 県内の委託医療機関(接種実施の有無については、各医療機関にお問い合わせください。)
- 任意接種 定期接種対象者以外の方や実施期間外に接種を希望される場合は、全額自己負担で接種が可能です。(接種費用については、医療機関へお問い合わせください。)
- 事前申請 ※生活保護受給者は、接種の際、下記お問い合わせ先にて発行する「自己負担金免除証明書」が必要です。(本人以外が申請する場合は委任状が必要)
※県外などの医療機関で定期予防接種を受ける方は、償還払いの対象になる場合があります。健康福祉課で事前の申請手続きをお願いします。

日本年金機構の職員などと称する「不審な電話や訪問」にご注意ください!

お知らせ

- 日本年金機構の職員が、電話や訪問により、預貯金額や口座番号、職業や家族構成などの個人情報をお聞きすることはありません。
- 電話で「税金(医療費)を還付する」、個人情報をお聞きし「答えないと年金の支払いを止める」などとお話しすることはありません。

※公的年金について、電話や訪問をすることがあるのは、日本年金機構および当機構が業務委託を行っている委託事業者だけです。職員および委託事業者が訪問する際は、必ず日本年金機構が発行した写真付き身分証明書を携行し、提示いたします。

くれぐれも、「なりすまし」による被害にご注意いただきますようよろしくお願いいたします。



【次回年金相談のお知らせ】

- 日時 12月4日(水)
10:00~15:00
(12:00~13:00までを除く)
 - 場所 役場西庁舎 1階会議室
- ※相談を希望される方は高知西年金事務所へ予約をお願いします

お問い合わせ先

- 高知西年金事務所 ☎088-875-1717
※お問い合わせの際は、お手元に基礎年金番号のわかる、年金手帳や年金証書をご用意ください。
- 町民課 ☎22-3117
- 大正地域振興局 町民生活課 ☎27-0112
- 十和地域振興局 町民生活課 ☎28-5112

いのうえ はると **若井川 井上 陽渡さん**
令和3年7月26日生まれ
いろんなことにチャレンジして、強くたくましく元気に成長してね♪

いのうえ あさひ **井上 朝媛さん**
令和5年2月13日生まれ
元気でやんちゃな朝媛、これからも沢山の笑顔を見せてね♡
(高徳・なつ子より)

【お問い合わせ先】
企画課 ☎22-3124

四万十町通信 すくすくコーナー募集 🔍 で検索

防災連載企画 No.7 **能登半島地震からの警告! 飼い主必見! 災害時のペット対応**

能登半島地震でもペットの同行避難、同伴避難は大きな問題となっている。大規模災害時、ペットを守るのは飼い主だけです。日頃の備えと災害時の行動について学び、南海トラフ地震に備えましょう!!

避難所までは
同行避難

避難所までは一緒に避難し、生活する空間は別です。飼い主は「居住スペース」、ペットは「ペットスペース」へ

町内 35 か所の2次避難所では、全てペットは**同行避難**となります。
※注意 避難所の建物内でペットと一緒に生活することはできません。

理由

理由① 動物アレルギーの方への配慮
理由② 静かに療養しないといけない方への配慮(鳴き声など)

理由③ 糞尿などの衛生面への配慮
理由④ 咬傷事故(かみつキ)などの発生防止

■ 平時の備え ■

- **ペット用防災グッズを準備(備蓄)しておく!**
□ペットフード □トイレ用品 □首輪・リード □ケージ
□常備薬 □水 □油性ペン □ガムテープ など
- **しつけ・健康管理**
・普段からケージに慣れておくよう訓練をしておきましょう。
・ワクチン接種やノミ、ダニの予防などをおきましょう。
- **地域の訓練への参加**
避難所開設訓練に参加し、避難所内のスペースを確認しておきましょう。

■ 災害が起ってから行動 ■

- **一時的に別の場所に預ける**
災害に備え、預けられる場所を探しておきましょう!
例: 知人宅・親戚宅・動物病院 など
- **同行避難**
避難所に避難する際は、必ずペットと一緒に避難をお願いします。ペットを野放しにしておくと、野生化や繁殖して、手が付けられなくなります。
(災害時におけるペットの救護対策ガイドライン 環境省 参照)

【お問い合わせ先】 危機管理課 ☎22-3280

次回 「窃盗・詐欺・デマ情報に注意!」

修復ビフォーアフター展

イベント

絵画修復家の大原秀之さんによる当館所蔵絵画の修復の記録と修復後の絵画を展示します。

普段見ることのできない修復の過程を知ることができる機会です。ぜひご来館ください。

- 開催期間 11月2日(土)~12月14日(土)
- 日時 火曜日~土曜日/10:00~17:30
日曜日/10:00~16:30

- 場所 四万十町立美術館
- 入館料 200円(高校生以下無料)
身体障害者手帳(1級・2級)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、長寿手帳に類するもの(運転免許証や保険証など)を提示する65歳以上の方は無料。

お問い合わせ先

四万十町立美術館 ☎22-5000

半平 秋の盆栽展

イベント

四万十町出身(高知市在住)の笹岡良吉さんの小盆栽展を開催。手のひらにのるほどの小さな小さな盆栽もあり、どの盆栽も笹岡さんの愛情いっぱいです。笹岡さんの手で丁寧に育てられた小さな和の世界をお楽しみください。

- 日時 10月26日(土)~27日(日)
9:00~16:00

- 場所 古民家カフェ半平



お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101

犬・猫の飼い方について

令和4年6月1日以降にペットショップやブリーダーから犬・猫を購入した場合、必ず環境省の「犬と猫のマイクロチップ情報登録」サイトで、ペットショップなどの所有から購入者の所有への「所有者変更登録」が必要です。

右のQRコードを読み取って登録をしてください。



【お問い合わせ先】
環境省コールセンター ☎03-6384-5320

四万十高校70周年記念式典

イベント

今年、創立70周年を迎える四万十高校は、創立以来、地元のご支援をいただき人材の育成に努めてきました。

今後も、地域社会の期待を担う学校として発展することを願い、記念式典を開催します。

式典ではとどろき太鼓の演奏や自然環境学習の取り組み発表、映画上映などを予定しています。

皆さまのご来場をお待ちしています。

- 日時 11月16日(土)9:30開会(予定)
- 場所 コンベンションホールきらら大正



お問い合わせ先

高知県立四万十高等学校 ☎27-0034

しまんと防祭フェス2024

イベント

昨年に引き続き、今年も開催決定!
「平時を楽しみ、有事に備える」をコンセプトに、楽しさと遊びの要素を取り入れた防災イベント。

詳細は近日公開!お楽しみに。

- 日時 11月24日(日)
9:30~14:00【雨天中止】
- 場所 四万十緑林公園
- 参加費 無料



お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280

事業承継相談会

募集

「子どもに事業を引き継ぎたい」、「誰かに事業を譲りたい」といった親族内承継・第三者承継など事業承継に関するあらゆる相談をお受けする「事業承継相談会」を開催します。

一組ずつ秘密厳守で対応いたしますので、希望時間が重なった場合は、調整させていただきます。ぜひご参加ください。(相談時間は一組、1時間程度)

- 日時 11月28日(木)
午前の部 10時~12時
午後の部 13時~16時
- 場所 四万十町商工会 会議室
- 相談料 無料
- 申込方法 電話かFAXでお申し込みください。
- 申込期限 11月26日(火)17時まで

お問い合わせ先

四万十町商工会 ☎22-0465 FAX22-0462

高知大学地域協働学部連携事業「四万十川フォトコンテスト」作品募集

募集

四万十川での思い出をシェアしませんか?
あなたの四万十川での思い出を「〇〇と四万十川」という大喜利形式で投稿するフォトコンテストを開催します。

自分の人生の一コマが誰かをクスッと楽しい気持ちにできるかもしれません。

さあ、あなたの思い出を投稿してみてください!

- 応募期間 11月15日(金)まで
- 応募方法 ①専用フォームから
②SNS[Instagram]から

●詳細はこちら



●お問い合わせフォーム



お問い合わせ先

企画課四万十川振興室 ☎22-3124

町営住宅入居者募集

募集

募集住宅	団地名	間取り	募集戸数
	仁井田第4団地(公営)	3DK	1戸
	十川鍋谷団地(定住)	3DK	1戸

- 申込期限 10月31日(木)必着
- 必要書類 入居申込書・住民票・完納証明・納付状況調査同意書・所得を証明する書類など
- その他 ①申し込みは1回の募集において1世帯につき1通に限ります。
②入居資格、申込み方法などについては建設課までお問い合わせください。
- 申込書配布場所 建設課、大正・十和地域振興局、興津出張所



お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

令和7年度コミュニティ助成事業募集

募集

(一社)自治総合センターでは、宝くじの収益を財源に、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的としたコミュニティ助成事業を実施しています。

町内でもこれまでに多くの自治会などが当事業を活用し、備品などを整備しています。実施を希望する場合は、下記までお問い合わせください。

- 実施主体 町内会などの町が認めるコミュニティ組織
- 助成対象経費 コミュニティ活動に必要な備品購入や集会施設の整備など
- 申込期限 10月21日(月)まで
- 詳細はこちら



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124



三つの縄文遺跡を有する

広域の地区

四万十町
町内
ぶら～り
散策

とお わ かわ ぐち
十和川口①



長沢川が四万十川に注ぐ「河口」

十和川口地区は広い。十川の街の西端を流れる長沢川の西側一帯が十和川口である。この長沢川が四万十川に注ぐ「河口」であったことからその名になったとされる。この河口から国道を西へ。道の駅とおわを過ぎトンネルを抜けた、四万十川を渡る手前の右側の町境まで地区は続く。道の駅の北側斜面の山の向こう側にも小さな集落がある。

「かわびら」と「かわひら」

地区は四つの組で構成されている。長沢川河口周辺を川平組、道の駅に向かって行くと、今成中組、下組。川平へ戻り十川小・中学校を右手に見つつ橋の手前を左折し山裾を行くと奥組である。山裾の道と別れ、山へ入る道を登って行くと「吹藪」という小さな集落がある。ここは、前述の「道の駅の北側斜面の山の向こう側」にあたる。吹藪から道の駅がある今成へ下りる山越えの道は今も使われている。

ところで、十川の街に隣接している長沢川河口辺り、つまり地区の東端が川平組と書いたが、地区の西端、四万十川を渡る直前の町境右手にも、組名ではないが川平という地名がある。十和川口地区の東端と西端が、面白いことにどちらも川平なのである。東の川平は「かわびら」で、西は「かわひら」と読むらしい。

地区の先人たる縄文人に想いを馳せる

昭和61・62年、長沢川最下流に位置する「かわびら」の河岸

で発掘調査が行われ、縄文後期の土器片や石鍬などの石器、さらには耳飾りなどの装飾品が大量に出土した。これは前号の「十川・中心部」で記した十川駄場崎遺跡の対岸にあたり、川口ホリキ遺跡(駄場崎B地区遺跡)と名付けられた。また、その数十メートル北に位置する場所(十川中学校辺り)でも遺跡が確認されていて、川口新階遺跡という。さらに、現在道の駅とおわがある辺りからも縄文遺跡が発見されている。今成遺跡である。今成は、江戸期の地検帳では川口村に含まれてはいるものの、今成村という項目があえて設けられていることから、当時から今成は一定の人口を有する集落であったことがうかがえる。江戸期どころか、遙か昔の縄文後期から、ここで人が生活し、集落を形成していたことを遺跡が証明している。これらの遺跡から、縄文人が暮らしていた十和川口の様子を想像してみるのも面白い。



川口ホリキ遺跡(駄場崎B地区遺跡)周辺

町のうごき

(8月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	7,256	-18	男 1	16	13	16
女	7,812	-19	女 4	18	10	15
計	15,068	-37	計 5	34	23	31
世帯数	7,996	-12	(8月中の届出)			

窪川地域 10,738人 大正地域 2,065人 十和地域 2,265人

※前号の「十川駄馬崎遺跡」について:「駄場」と書く記録の方が多いため「十川駄場崎遺跡」に訂正いたします。

四万十町通信

2024.10月号
Vol.223 (毎月10日発行)

●発行/四万十町企画課 ●印刷/弘文印刷

〒786-8501 高知県高岡郡四万十町琴平町16-17

☎(0880) 22-3124

FAX(0880) 22-3123

UD FONT
by MORISAWA

本文など内容の一部に見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。